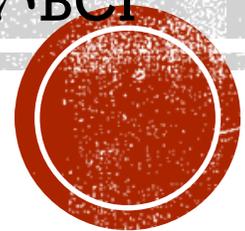


マテリアル事業（日本・上海）SDGSへの取り組み

マテリアル事業部では2016年度より、ひとの健康と環境に優しいBCIコットンの使用を開始し、取引量の拡大につとめています。



BCIコットン（BETTER COTTON INITIATIVE）とは



BCIコットンとは、持続可能なコットン生産を推進している国際NGO団体BCI（Better Cotton Initiative）が定める基準に則って栽培されたコットンのことです。

綿花栽培における環境への負荷を軽減しながら、農家の生産性も維持できるよう課題解決に取り組むプログラムです。厳しい規制をクリアした最上級（Best）のオーガニックコットンに対して、基準を緩くしつつも、誰にでも受け入れられる改善をもって綿花栽培の持続可能性を高め、より良い（Better）ものにしようという取り組みです。

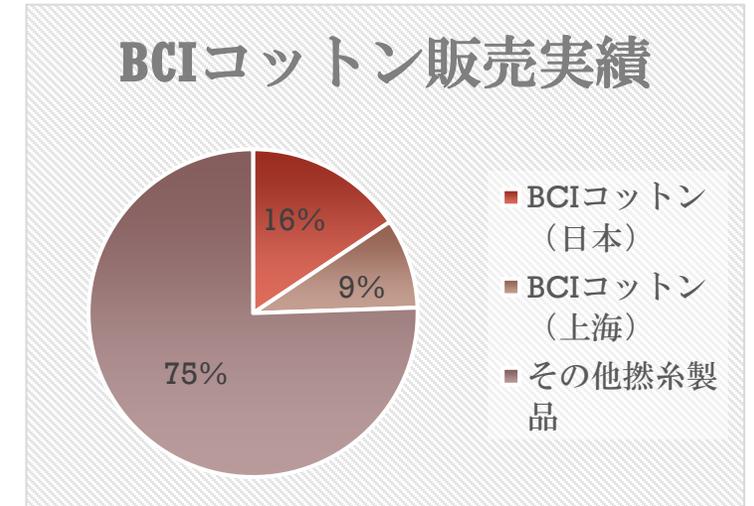
その目標は、人の健康と環境に影響を与える水と農薬の使用量を減らすこと、土壌の改善、農家や綿花生産労働者の労働環境を整えること、持続的な綿花生産を推進するための世界的な知見交換の促進にあります。

BCI認証を受けた綿花は年々増加しており全世界のコットン生産量の約20%を占めています。



BCIコットン使用品番の販売実績（2022年3月期）

	日本	上海	事業部計
買付量（綿番手60/1）	36.8t		
買付量（綿番手60/2）	14.0t		
撚糸上り製品販売量	88.0t	50.4t	138.4t
全販売量	328.0t	236.4t	564.4t
構成比率	26.8%	21.3%	24.5%



当社は使用量の多い綿番手60/1・60/2に絞りインドより買付を行っており、2021年度の撚糸上り製品の販売量は国内外合計で138.4t、全販売量の24.5%を占めます。

今後は他番手にも拡げ、サステイナブル綿糸の使用比率を向上させると共に、アセテート、レーヨン、ポリエステル等原料についても認証取得可能な原料への置き換えを進めております。



SDGS目標への対応

6 安全な水とトイレ
を世界中に



【目標6】安全な水と衛生

綿花の栽培には大量の水が必要で、6割を占める灌漑畑地からの引水の多用から水資源が激減し、河川・湿地・森林等の流域を破壊、また多量の農薬の使用により、生態系を破壊し、土壌の劣化を招いております。BCIの使用によって、土壌の健全性を守り、水を保全し、農薬を制限して、生物多様性と生態系の保護につとめることができます。

8 働きがいも
経済成長も



【目標8】包括的で持続可能な経済成長、雇用、すべての人々のためのディーセントワークを促進する

綿花栽培農家の多くが発展途上国の小規模農家で、収入が日用品や食料等の生活費を下回る貧困生活に加え、農薬・肥料等で多額の借金を抱え、更に児童労働・強制労働がまかり通っています。BCIの使用によって、搾取的な労働慣行を排除し、男女平等を実現し、公正な賃金と高収穫率による収入向上により、綿花農家の貧困の撲滅につとめます。

12 つくる責任
つかう責任



【目標12】持続可能な消費と生産のパターンを確保する

綿花の価格は、金融商品としての取引により変動しやすく不安定、農家にとって不確かな市場となっています。BCIの使用によって、価格の急変に対する農家の対応力を高めて負債を防ぐ取組みや、綿花の調達を公正かつ持続可能な方法で行えるよう支援したり、コミュニティに投資して、長期的リソースと回復力を高めるようつとめています。

